



## 前期が終了し、後期スタート

8日(金)前期終業式を行い、本日11日から後期がスタートしました。前期102日間の学校生活でしたが折り返しに入りました。前期の反省で、あいさつをもう少し頑張らせたいという職員の間がありました。そこで始業式では、「あいさつ」は何のためにするのか考えました。私たち人間は、たった一人では生きていけないこと、だれでも支え合って暮らしていることを話しました。「あいさつ」は、その「みんなで一緒に暮らしている」ことを確かめるため、そして「あいさつする自分」や「相手を大事にしている」ということを表すものであると話しました。

これから、学校のあちらこちらで、「おはようございます」等の挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」のことばが聞こえるように、もっともっとステキな学校になるようにしましょうと話しました。さて、ご家庭や地域でのあいさつはどうでしょうか。自然にあいさつができるといいですね。

保護者、ご家族、地域のみなさまには、日頃の学校運営へのご理解とご協力に感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## 前期終業式 代表児童作文発表

「ぼくが前期にがんばったこと」

2年 佐藤 \*\*

ぼくが前期にがんばったことの一つ目は、歌です。1年生の時はみんなの前で一人で歌うことはありませんでした。2年生では、音楽の時間に「うたうまグランプリ」というものがありました。ゆう気を出して、一人で歌ってみたら、先生が、「とてもじょうずだね。音ていもばっちり。」とほめてくれました。みんなもたくさんはく手をしてくれました。これからもいろいろなきょくを元気に歌っていきたいです。

二つ目は、算数の計算です。前はゆびをつかっていたけれど、ひっ算のれんしゅうをしているうちに、すらすらとはやくできるようになりました。もうすぐ九九をべんきょうするので、今からとても楽しみです。

ほかにも前きは、子どもラップやダンスにもちょうせんしました。プールではおよげるようになりました。いろいろなことができるようになりました。

前きのがんばりや思いでを大切に、後きもまたみんなで、がんばっていききたいと思えます。



「前期にがんばったこと」

4年 佐藤 \*\*

ぼくが、前期にがんばったことは、三つあります。一つ目は算数です。特にわり算の三ケタ割る二ケタの筆算をがんばりました。最初のころは、商が大きすぎたり、小さすぎたりしてうまく商を立てることができなかつたけれど、やっているうちにだんだんとなれてきて、計算をすることができるようになりました。二つ目は、運動会です。あいにくの雨で、外でやることはできなかつたけれど、体育館でやることができましたので、よかったです。特に、心に残っているのは、バトンリレーです。ぼくは、白組で最後まで走りきり、次の人へバトンをつなげることができたので、ほっとしました。残念ながら、白組は最下位だったけれど、チームのみ



んなが一つになってがんばったと思いました。三つ目は、委員会です。「一年生こんにちは集会」では、運営委員会がじゅんぴをして進めました。朝の放送など、全校にむけてよびかけることができました。集会は、大成功で、一年生のみなさんは、喜んでくれたと思います。ぼくは放送の声が大きすぎて、周りの人たちからびっくりされました。今度からは、声の大きさを考えて放送しようと思いました。

後期にがんばりたいことは、二つあります。一つ目は走ることです。ぼくは、走ることが苦手で、駅伝大会はドキドキしています。タッチでマラソンや体育の時間の八百メートル走では、タイムがおそいです。でも、ぼくなりにならば、一秒でも自分の記録がよくなるようにならばいいです。よい結果を出したいです。二つ目はあいさつです。前期では、相手の目を見てあいさつをすることや先生方の名前をよびながらのあいさつをすることができなかつたので、心がけてあいさつしたいです。後期は、あと半年で五年生になるので、高学年をお手本にして、東由利小のリーダーをめざして、がんばりたいです。

## 前期のふり返りと後期のめあて

6年 島山 \*\*

私が前期でがんばったことは、社会の歴史の学習に出てくる人物の勉強です。名前を漢字で書けるようにおぼえたり、何をしたのかどんな作品を作ったのかを教科書や資料集で調べたりしてまとめました。難しい漢字が使われているので大変でしたが、繰り返し書いたり問題に答えたりして覚えることができました。

この他に運動会では応援を考えてみんなと心をつなぐ声を出すことができました。最高学年としての役割を知ることができました。

夏休みにはプールに行き水泳の練習をしました。息つきは難しいですが、夏休み前よりも遠くに泳ぐことができるようになりました。

修学旅行に行くことができず延期になったことが残念でしたが、また準備をして、友だちと協力して思い出に残る修学旅行にしたいと思います。

後期のめあては、卒業に向けて自分を成長させていくことです。まず、歌をきれいに歌えるようにすることです。私は歌が好きだけれど、歌うと声が小さくなってしまいうので、そこをなおしていくことができるよう、朝の歌で声を出して歌い、はっきりした声であいさつや返事をするようにして、卒業式で、はっきりと伝えることができるようにしたいと思います。

次に、小学校の学習を身につけるということです。6年間の復習をしっかりと、中学校への準備をしたいと思います。

東由利小学校は今年で創立十周年をむかえました。私は「おめでとう」の気持ちでいっぱいです。これから何十年も、東由利小が残ってほしいと思います。前期はかだんの整備をしましたが、後期も学校のために、私ができることをしていきたいと思います。そして、私を成長させてくれる、この東由利小学校で、後期もがんばっていきたいと思います。



## 中合同駅伝大会チーム顔合わせ

10月7日(木)に駅伝大会の小中学生合同縦割り9チームの顔合わせをげんき館で行いました。各チームごとに自己紹介をした後、準備体操をしたり、走順を確認したりしました。そして、外でたすきの受け渡しの練習を行いました。初めての1年生も、上手にできていました。終わりに、リーダーから、本番に向けての意気込みが伝わる発表がありました。

いよいよ13日(水)に小中駅伝大会が開催されます。一生懸命走る姿が、地域を元気にします。力一杯の走りを期待したいと思います。応援よろしくお祈りします。

